

初修外国語	初級ロシア語
-------	--------

《履修上の留意事項》本授業は、外国人患者とのコミュニケーションスキルの習得に努めることを最終的な目的としている。履修生は、その基礎となる文法・表現を真摯に学び、質疑応答などを通じ授業への積極的な参加が求められる。

《担当者名》シルヴィア・マリア・オレーヤージュ（非）

#### 【概要】

本授業は、ロシア語を初めて学ぶ学生を対象とし、ロシア語初級文法を習得する。授業前半は、ロシア語を最も特徴付けているアルファベット（キリル文字）を習得する。授業後半では、ロシア語でコミュニケーションが取れる基礎的な会話能力を獲得する。また、ロシアの音楽や美術・文化と触れ合う機会を通じロシア語に対する興味を増す。

#### 【学修目標】

- ・日常会話を中心とした基礎ロシア語コミュニケーション能力を習得する。
- ・ロシア語アルファベット（キリル文字）を記憶し、応用する。
- ・ロシア語初級文法を習得する。
- ・ロシア語を用いて初歩的な自己表現をする。

#### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	レッスン1：イントロダクション	基本的な挨拶、自己紹介 ・「こんにちは」「ありがとう」「私は～です」といった初歩的な表現を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
2	レッスン2：アルファベット1	ロシア語のアルファベット前半 ・ロシア語アルファベット前半の読み方・書き方を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
3	レッスン3：アルファベット2	ロシア語のアルファベット後半 ・ロシア語アルファベット後半の読み方・書き方を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
4	レッスン4：疑問詞	「これは何？」「彼・彼女は誰？」 ・初歩的な疑問表現を習得する。 ・初歩的な疑問表現に対する応答表現を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
5	レッスン5：人称代名詞	「初めまして」 ・基礎的な人称代名詞を習得する。 ・人称代名詞を用いて自己紹介の表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
6	レッスン6：前半部分の復習	ミニクイズ1 ・前半部分の内容を再確認し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
7	レッスン7：所有代名詞（この/これ）	「これは、私のカバンです」 ・基礎的な所有代名詞を習得する。 ・所有代名詞を用いて、自分の所有物に関する表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
8	レッスン8：形容詞（男性形/女性形/中性形）	形容詞（新しい、古い、大きい）の変化 ・形容詞の男性形・女性形・中性形概念を理解する。 ・基礎的な形容詞を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
9	レッスン9：中間部分の復習	ミニクイズ2 ・所有代名詞・形容詞を正しく理解し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
10	レッスン10：ロシア文化紹介	ロシアの有名人や有名なものの紹介 ・ロシア語とロシア文化の繋がりを理解する。 ・ロシア語とロシア文化への関心を増す。 ・日本文化とロシア文化の接点を見出す。 （本レッスンは外部講師招へいの可能性を含む）	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
11	レッスン11：家族・国籍・職業	家族・国籍・職業の表現 ・基礎的な名詞を習得する。 ・名詞を用いて自己紹介の表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	レッスン12:動詞(現在形)1	動詞・読む/「何を読んでいますか?」「何をしていますか?」 ・疑問表現を増やす。 ・基礎的な動詞を習得する。 ・動詞の格変化を理解する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
13	レッスン13:動詞(現在形)2	動詞・話す・見る/「映画を見ますか?」 ・基礎的な動詞を習得する。 ・動詞の格変化を理解する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
14	レッスン14:後半部分の復習	ミニクイズ3 ・前半部分の内容を再確認し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
15	レッスン15:まとめ	まとめ ・授業全体の内容を再確認し、記憶する。 ・初級文法上の不明な点を解消する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ

**【授業実施形態】**

遠隔授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

授業中に課す小課題(30%)、宿題(10%)、期末試験(40%)、授業・交流事業での発言(20%)。

**【教科書】**

黒田龍之介『ニューエクスプレスプラス・ロシア語』白水社、2018年

**【参考書】**

必要な参考文献がある場合、授業中にプリントを配布する。

**【備考】**

本授業を通じて、実用的なロシア語能力の獲得を目指す。このため、授業の進行の妨げにならない範囲で、ロシア人ゲストスピーカーの招へい、ロシア人学生との授業内・学外交流を実施している(平成31年度/令和元年度実績で、ゲストスピーカーによるロシア文化特別講義1件、授業内学生交流1件、学外学生交流1件)。これらの活動に積極的に参加し、ロシア語会話に努める気概が受講生に求められる。

**【学修の準備】**

次回の授業範囲に指定したページを事前に読むこと(15分)。その中で、不明な単語がある場合は、意味を調べ、憶えること(5分)。

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

- (DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
- (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- (DP5) 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。

**【実務経験】**

ロシア語講師

**【実務経験を活かした教育内容】**

スラヴ系言語は日本人にとって学習が難しい外国語の一つである。中でも格変化が難しいが、日本語でも「てにをは」があり、概念を変えれば日本語にも格変化が存在すると言える。このように、日本人学生に教えた経験から、日本人にとって難しいとされる文法・単語表現を受講生に容易に理解できるように説明する。